

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	5月28日(火)	第54回通常総会	東 京	4号2ページ参照
	6月14日(金)	第2回大学土木教育に関するシンポジウム	土木学会	4号4 "
	6月17日(月) ~18日(火)	第4回トンネル工学に関するシンポジウム	東 京	4号4 "
	7月31日(水) ~8月3日(土) 8月5日(月) ~5日(木)	第5回水工学に関する夏期研修会	福 岡 市	4号5 "
	10月11日(金) ~15日(火)	昭和43年度全国大会	名古屋市外	4号2 "
関東支部	4月27日(土)	第5回通常総会	土木学会	4号8 "
中部支部	4月19日(金)	支 部 総 会	岐 阜 市	4号9 "
関西支部	5月12日(日)	支部年次学術講演会	大 阪 市	4号9 "
	5月23日(木)	第41回総会および創立40周年記念式典	同	4号9 "
そ の 他	4月16日(火)	コンクリート講習会	東 京, 外	4号6
	5月23日(木)			
お知らせ	■第54回通常総会開催のお知らせ			4号2 "
	■「土木学会 昭和43年度全国大会」第23回年次学術講演会実施要領			4号2 "
	■土木計画学講習会案内			4号6 "
	■第12回材料研究連合講演会講演募集			4号6 "
	■第3回「国土開発映画コンクール」作品募集			4号6 "
	■Coastal Engineering in Japan, 1968 掲載原稿の公募			4号6 "
	■用途別鋼材のえらび講習会			4号15 "
■第6回接着研究発表会講演募集			4号16 "	

◎評議員選挙告示

昭和43年度評議員選挙を各支部ごとに4月末日までに行ないます。

各支部の評議員定数は、1月末日現在の所属会員数(規則第18条により)に比例して、つぎのとおりであります。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国四国	西 部	合 計
会員数	1 631	1 477	10 519	3 025	5 943	1 443	1 682	25 720
評議員数	6	6	41	12	23	6	6	100

◎理事および監事選挙告示

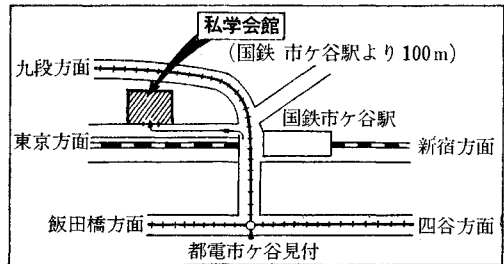
昭和43年度理事および監事の選挙を5月上旬までに行ないます。

第 54 回通常総会開催のお知らせ

昭和 43 年の通常総会は、つぎの日程で東京都において開催いたします。多数ご参加下さい。
 なお都合により総会にご出席願えない方は、お手数ながら、本誌 3 月号添付の委任状をぜひご送付下さい。

1. 日 時：1968 年 5 月 28 日（火）13.00～18.00
2. 場 所：私学会館 7 階講堂（国電市ヶ谷駅下車 3 分）
3. 次 第：

会場案内図



- 総 会；事業報告
 決算報告
 名誉会員推挙
 土木学会賞授与
 新役員の紹介
 特別講演：(15.00～17.00)

わが国の高速道路
 経済の動向と公共投資
 土木学会会長 富 樫 凱 一
 日本経済研究センター理事長 大 来 佐 武 郎

懇 親 会；
 私学会館 7 階 17.00～18.00（会員の多数参加を希望します）
 会費 500 円，当日ご持参下さい。

「土木学会 昭和 43 年度全国大会」

「土木学会 昭和 43 年度全国大会」は、今年から総会と分離して、第 23 回年次学術講演会をはじめ、特別講演会、部門講演会、PR 講演会、懇親会、見学会をつぎの日程で名古屋市において開催することになりました。

懇親会、見学会、講演概要集購入などの申込み方法は、学会誌 7 月号でお知らせします。

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 特別講演会 | ： 1968 年 10 月 11 日（金） 9 時～12 時 | 於名古屋大学豊田講堂 |
| 2. 部門講演会 | ： " 10 月 11 日（金） 13 時～17 時 | 於名古屋大学教養部教室 |
| 3. 第23回年次学術講演会 | ： " 10 月 12 日（土） 9 時～17 時 | " |
| | ： " 10 月 13 日（日） 9 時～17 時 | " |
| 4. PR 講演会 | ： " 10 月 12 日（土） 13 時～17 時 | 於中電ホール |
| 5. 懇 親 会 | ： " 10 月 12 日（土） 18 時～20 時 | 於豊田ビル 6 階大ホール |
| 6. 見 学 会 | ： " 10 月 14 日（月）～15 日（火） | |
| 1 班 | 東海道方面（伊豆長岡温泉泊，小田原駅解散） | 10 月 14 日，15 日（1 泊 2 日） |
| 2 班 | 飛騨信濃方面（平湯温泉泊，松本駅解散） | 10 月 14 日，15 日（1 泊 2 日） |
| 3 班 | 伊勢志摩方面（鳥羽泊，蒲郡駅解散） | 10 月 14 日，15 日（1 泊 2 日） |
| 4 班 | 北 陸 方 面（宇奈月温泉泊，高岡駅解散） | 10 月 14 日，15 日（1 泊 2 日） |
| 5 班 | 名古屋付近（明治村，日本ラインほか） | 10 月 14 日 （日帰り） |

第 23 回年次学術講演会実施要領

第 23 回年次学術講演会は、この度から開催時期を改め、昭和 43 年度全国大会学術講演会として 1968 年 10 月 11 日（金），12 日（土），13 日（日）の 3 日間，名古屋大学教養部教室において開催することになりました。

講演申込要領その他は、下記のように決まりましたのでお知らせします。講演希望者は定められた期日までに、講演申込み（期限 5 月 31 日必着）ならびに講演概要の原稿提出（期限 7 月 10 日必着）をして下さい。

I. 講演要領

- ① 研究論文は各部門とも、個人発表または一般報告形式として発表する。
- ② 個人発表は、講演時間を15分(交代時間を含む)とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ③ 一般報告形式では、同じ種別の論文数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後に著者の補足説明ならびに質疑討論を行なう。
- ④ 一般報告形式による論文は、学会で決定し、学会誌7月号に掲載する。
- ⑤ 講演概要の記述にあたっては、一般会員がこれによって十分理解できるよう、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく書くこと。

II. 講演申込要領

- ① 講演者の資格：講演者は土木学会会員に限る。ただし、連名者は非会員でもさしつかえない。
- ② 講演申込方法：講演希望者は定められた申込カード(3枚複写)に所定の事項を明記し、必ず150字程度のあらましを書き加え、官製はがき2枚(表面に連絡者宛名を、裏面上部に講演題目を記入した)を添付して**5月31日(金)**必着するよう直接下記へ送付すること。

(送り先) 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部土木教室内 土木学会全国大会学術講演係

- ③ 申込カードは、各支部に準備しているから、所属支部へ請求すること。
- ④ 講演内容は、原則として未発表のもので、1人1題に限る。
- ⑤ 講演部門は、つぎの4部門に分ける。

第1部門：応用力学，構造力学，橋梁など

第2部門：水理，水文学，河川，港湾，海岸，発電水力，衛生工学など

第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工など

第4部門：道路，鉄道，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，交通，トンネル，測量など

講演申込カードには、講演内容が上に示す部門別分類のいずれに属するかを記入すること。ただし、都合により本人の了承を得て希望部門を変えることがある。

III. 講演概要原稿提出要領

- ① 講演申込者は、必ず講演概要原稿を提出すること。期日までに提出しないものは講演を断わります。
- ② 講演概要集は、原稿をそのまま縮写してオフセット印刷にしますので、定められた原稿用紙を用いること。
- ③ 原稿用紙は執筆要領とともに各支部に準備しているから、所属支部へ請求すること。
- ④ 原稿の長さは、2ページを原則とし、超過する場合は4ページ(3ページのものを受付けない)とする。
- ⑤ 原稿は、**7月10日(水)**必着するよう直接下記へ送付すること。

(送り先) 名古屋市千種区不老町 名古屋大学工学部土木教室内 土木学会全国大会学術講演係

- ⑥ 講演者(○印)には、各自の原稿の別刷を30部贈呈するのみで、特別の増刷はしない。

IV. 講演概要購入申込要領

講演概要集は、すべて有料とし、無料交付はしない。学会誌7月号にとじこみ予定の購入申込書により申込みこと。(申込期限**9月1日**)

V. 講演申込者へお願い

講演申込みならびに講演概要原稿提出は、必ず期限を守って下さい。締切期日が過ぎてから到着のものは、プログラム編成、概要集の編集と印刷の作業進行上全く余裕がありませんので、残念ながら受理できません。あらかじめご了承ください。

講演申込カード必着日：**5月31日(金)**

講演概要原稿必着日：**7月10日(水)**

第2回大学土木教育に関するシンポジウム

◀ 6月14日(金) 9.30~ ▶

土木学会大学土木教育委員会の主催により、標記シンポジウムを下記のプログラムにより開催いたしますので、多数ご参加下さるようご案内いたします。なお、プログラム等については一部変更されることもありますので、詳細は5月号でご案内いたします。

1. 日 時：1968年6月14日(金) 9.30~16.00

2. 場 所：土木学会土木図書館講堂

3. プログラム：

9.30~ 9.40	挨拶	大学土木教育委員会委員長	林 泰 造
9.40~10.10	大学土木教育の現状と問題点	東京大学	高 橋 裕
10.10~11.00	大学土木教育に関するアンケートの集計結果と分析	建設省	川 本 正 知
10.50~11.00	休 憩		
11.00~11.30	アメリカにおける大学土木教育	中央大学	林 泰 造
11.30~12.00	ヨーロッパにおける大学土木教育	京都大学	赤 井 浩 一
12.00~13.00	休 憩		
13.00~13.40	工専土木教育の現状と問題点—大学土木教育との関連において—	神戸市立工業高等専門学校々長・京都大学名誉教授	近 藤 泰 夫
13.40~14.25	大学土木教育に何を望むか		講師数名(依頼中)
14.25~14.39	休 憩		
14.30~16.00	パネル討論 大学土木教育のあり方について		
	閉会の辞		

第4回トンネル工学に関するシンポジウム

◀ 6月17日(月)~18日(火) ▶

トンネル技術の進歩、建設単価の軽減、工事量の増加と工事規模の巨大化にともなう熟練工の不足等、わが国トンネル工事に関する諸問題の解明のため、トンネル工学委員会では昨年暮より2班からなる視察団を編成、米国、カナダ、欧州諸国に派遣いたしました。この視察団は、欧米諸国のトンネル工事をつぶさに調査研究し、多大の成果をおさめてこのたび帰国いたしました。

これらの成果は、今後のわが国トンネル建設一般および施工技術の改善に寄与するところ大であると思われますので、この帰国を機会に下記により標記シンポジウムを開催することに決定いたしました。斯界進展のためなるべく多数の関係者のご参加をお待ちしております。

1. 日 時：1968年6月17日(月)、18日(火)の2日間

2. 場 所：私学会館講堂(国電市ヶ谷駅下車徒歩3分)

3. 参加費：3000円(テキスト代を含む)

4. 申込方法：氏名、所属、連絡先明記のうえ、会費を添えて土木学会事業課宛6月10日までにお申込み下さい。定員がありますので満員の際はお断りすることがありますのであらかじめご了承下さい。

第1日 17日

9.30~ 9.40	開会挨拶	トンネル工学委員会委員長	藤 井 松 太 郎
9.40~10.10	ソビエトの地下鉄	国鉄技師長	藤 井 松 太 郎
10.10~10.40	アメリカのトンネル工事を視察して	国鉄山陽新幹線工事課長	齋 藤 徹
10.40~11.20	アメリカにおける山岳トンネル工法	西松建設中国支店土木課長 国鉄山陽新幹線工事課長	○津 下 富 貴 夫 齋 藤 徹
11.20~12.20	アメリカにおけるトンネル掘削機	道路公団名古屋建設局建設第2部長	江 崎 健 一 郎
12.20~13.20	昼食休憩		
13.20~14.20	アメリカにおける地下鉄工事の現況	帝都高速度交通営団工事第一課長 間組 城東砂町出張所長	○吉 沢 慶 藏 平 尾 重 信

14.20~14.50	アメリカにおけるコンサルタント業務	館谷組 理事 鹿島建設仙台支店積内出張所長	○大塚 本夫 寺 研 穎
14.50~15.05	休 憩		
15.05~15.40	アメリカにおけるトンネル請負工事の諸事情について (労務その他)	飛鳥建設鴨越作業所長 大林組土木部土木課長	○堀 井 昇二 森 実 治
15.40~16.15	同 上 (契約)	大成建設日本坂トンネル作業所長 藤田組 札幌支店土木課長	○横 内 利 治 片 岡 肇 峯
16.15~16.40	アメリカのトンネル施工に関する新技術	奥村組技術研究所調査部長	河原畑 良 弘
16.40~17.00	(映画) マサチューセツ工科大学におけるレーザー光線による岩石破壊実験		
第 2 日 18 日			
[9.30~10.30	欧州におけるトンネル請負工事の諸事情について (契約, 労務およびコンサルタントなど)	大阪市交通局建設部長 鉄建建設土木部次長	○宮 内 義 人 渡 部 基 夫
10.30~11.30	欧州における山岳トンネル工法	鉄道建設公団工務第一課長 鹿島建設土木部工務部長	○足 立 貞 彦 奈 良 部 雄 雄
11.30~12.30	欧州におけるトンネル掘削機	国鉄建設局線増課長 前田建設工業野辺地作業所長 三井建設大阪支店土木部長代理	○横 山 浩 雄 下 瀬 光 献 吉
12.30~13.30	昼食休憩		
13.30~14.25	欧州のシールド工事	東京都交通局設計課長 銭高組大和工事々務所長	○遠 藤 浩 三 山 田 隆 文
14.25~15.20	欧州の地下鉄工事と沈埋工法	帝都高速度交通営団設計第1課長 地下工事コンサルタント社長	○渡 辺 健 多 白 石 俊 夫
15.20~15.20	休 憩		
15.30~16.10	欧州における注入工法	電源開発水力建設部工事課長 佐藤工業九頭電作業所長 清水建設工事課長	○高 島 康 夫 前 川 惠 立 原 田 彦 丸
16.10~16.50	(映画) ミュンヘン地下鉄工事の機械化シールド	トンネル工学委員会幹事長	加 納 俊 二
16.50~17.00	閉会挨拶		

第5回水工学に関する夏期研修会

◀ 7月31日(水)~8月3日(土) ▶
◀ 8月5日(月)~8月8日(木) ▶

第5回水工学に関する夏期研修会は下記により開催いたしますので、ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

- 開催期日：1968年7月31日(水)~8月8日(木)
- 会 場：九州大学工学部防音103講義室(福岡市大字箱崎 3576・電話 福岡 64-1101)
- 対 象：大学終了程度の方
- 題目・講師および日程：(題目は多少変更することがあります)

(A) 海岸・港湾コース：7月31日(水)~8月3日(土)

7月31日(水) 12.00~13.00	受 付		
13.00~14.00	特別講演(題目未定)	九州大学名誉教授	松 尾 春 雄
14.00~17.00	波浪推算法概論	九州大学教授	井 島 武 士
8月1日(木) 9.00~12.00	海岸計測論	九州大学助教授	光 易 恒 恒
13.00~17.00	沿岸潮汐の予知論	気象庁海洋気象部	宮 崎 正 衛
8月2日(金) 9.00~12.00	海岸保全論	建設省河川局	豊 島 喜 修
13.00~17.00	特殊防波堤論	運輸省港湾技術研究所	伊 藤 喜 行
8月3日(土) 9.00~12.00	沿岸環境問題	電力中央研究所技術研究所	和 田 明 明
13.00~17.00	河口安定論	宮崎大学助教授	吉 高 益 男
17.00~17.30	終 了 式		

(B) ダム・河川コース：8月5日(月)~8日(木)

8月5日(月) 12.00~13.00 受 付

- | | | | | |
|---------|-------------|-----------------|----------|------|
| | 13.00~17.00 | 集中豪雨 | 九州大学教授 | 坂上 務 |
| 8月6日(火) | 9.00~12.00 | 航空写真による洪水時の流況測定 | 自由学園最高学部 | 木下良作 |
| | 13.00~17.00 | 河川汚濁論 | 九州大学助教授 | 栗谷陽一 |
| 8月7日(水) | 9.00~12.00 | 貯水池群の統合操作 | 京都大学教授 | 石原安雄 |
| | 13.00~17.00 | 境界層理論 | 九州大学教授 | 岡部淳一 |
| 8月8日(木) | 9.00~12.00 | 電子計算機の応用例 | 建設省土木研究所 | 木下武雄 |
| | 13.00~17.00 | 特別講演:乱流現象 | 九州大学名誉教授 | 栗原道徳 |
| | 17.00~17.30 | 終了式 | | |
5. 定員:(A) 海岸・港湾コース 100名, (B) ダム・河川コース 100名
 6. 参加費:1コースにつき4000円(ただしテキスト代を含みます)
 7. 申込方法:受講希望者は,勤務先,氏名,連絡先,コース名を明記のうえ,参加費を添えてお申込み下さい。
 8. 申込先:土木学会事業課(東京都新宿区四谷1丁目・電話 東京 351-5139)
 9. 申込期限:7月20日(土)

土木計画学講習会開催案内

最近の土木事業はいちじるしく大型化されてきており,事業の大型化は必然的に計画の合理化を要請することとなります。

しかも今日では,土木事業の計画に何等かの形でたずさわる人が非常に多くなっております。しかし,現段階では,土木工学における計画の方法はまだ未成熟な段階にあり,一部で用いられている手法も土木一般の技術者に広く知られていない状態であります。

昨年から2回にわたって開催しました土木計画学シンポジウムにおいても,多くの強い要望が出されておりました。

土木計画学研究委員会では,これらの要望にこたえて,これまで用いられてきた手法をわかりやすく修得できるように,下記要領で第1回の講習会を開催することとなりましたので,多数ご参加下さいませようご案内致します。

なお今回は,計画学の手法に関する分野のみが講習会の対象となっておりますが,順次他の分野にも幅を拡げて,いろいろな手法をご紹介します予定であります。

記

1. 期 日:1968年7月上旬~8月上旬
2. 期 間:2日間
3. 会 場:東京および大阪の2会場
4. 課 題:土木計画学の手法について
ただし,今回は特につぎの項目について焦点を絞って実施致します。
(1) 土木計画問題のシテム化と定式化について
(2) 調査方法および資料整理について
(3) 将来予測の方法について
5. 備 考:日時,会場,諸費用は決まり次第本欄でお知らせ致します。

第12回材料研究連合講演会講演募集要綱

1. 共 催:日本学術会議材料研究連絡委員会・応用物理学会・化学工学協会・金属表面技術協会・高分子学会・セメント協会・電気学会・土木学会・日本鑄物協会・日本化学会・日本機械学会・日本金属学会・日本建築学会・日本航空学会・日本材料学会・日本材料科学会・日本材料強度学会・日本造船学会・日本鉄鋼協会・日本非破壊検査協会・日本木材学会・溶接学会・窯業協会
2. 幹事学会:化学工学協会・日本金属学会・日本材料学会・窯業協会

3. 開催日：1968年9月2日(月)～3日(火)
4. 会場：京都大学工学部土木総合館
5. 講演申込：① 参加学会所属の会員は当該学会を通じて申込み，参加学会会員以外の方は直接幹事学会に申込みこと。
 ② 講演内容はすでに発表されたものでもさしつかえないが，最近の研究に属するものが望ましい。なお，研究内容は材料の諸物性，諸性質の測定および試験ならびに材料の適切な使用に関する応用研究を包含する。
 はじめての試みとして，今回は後記主題によるシンポジウムをも開催するので，多数のご参加を期待する。
 ③ 講演時間は約20分(討論を含む)の予定。
 ④ 講演の採択などは材料研究連合講演会運営委員会に一任されたい。
 ⑤ 申込用紙はB5判とし，つぎの事項を必ず記載すること。
 - a) 講演題目
 - b) 梗概約200字
 - c) 講演部門名
 - d) 講演ならびに連名者の各氏名，勤務先，通信先，学会員資格，年令(連名の場合には登壇者に○印をつけること)
 - e) 講演題目，氏名，勤務先には英文を付記すること
 - f) スライド使用の有無(大きさは35mm)
 - g) 欧文論文集(付記参照)へ投稿希望の有無
6. 申込締切：1968年6月10日(月)
7. 講演前刷：聴講者のテキストとし，あわせて講演時間の短縮，掛図などの節約のため，講演者全部の講演前刷を作るので，講演者は前刷原稿を必ず期日までに所属学会へ(参加学会会員外は，申込んだ幹事会へ)提出すること。
 - a) 講演前刷原稿提出期日 7月20日(土)
 - b) 前刷原稿は規定の原稿用紙2枚以内(図表，写真を含めて邦文で約2600字)に明りょうに墨書し，なるべく余白をさけるように留意のこと(講演前刷はオフセットになるので写真も入れることができる)
 - c) 所定原稿用紙は講演申込者に所属学会から送り，所定用紙以外に書いた原稿は受け取れない。
8. 講演部門：I. Micro-structure of Materials (微視的構造)
 II. Mechanical Properties and Behavior of Materials (材料の力学的性質と挙動)
 III. Physical Properties of Materials (材料の物理的性質)
 IV. Chemical Properties of Materials (材料の化学的性質)
 V. Strength of Structures (構造物強度)
 VI. Working and Processing of Materials (材料の加工と処理)
 VII. Special Problems (その他)

<シンポジウム>

下記予定によりシンポジウムを開催いたしますので，できるだけ多くの方々の講演を募集いたします。ふるってご応募下さい。

一般討論：9月2日(月) A.M. 9.00～12.00を予定

主 題「動的環境下における材料の劣化と腐食およびその対策」

(たとえば，応力腐食割れ，環境応力割れ，腐食疲労，摺動腐食，伝熱面の腐食，
流動下の腐食など)

講演 15分・討論 15分の予定

パネルディスカッション：同日 P.M. 2.00～5.00を予定

主 題「材料の腐食と防食設計」

話題提供者3～4名が15分程度発言し，討論を行なう

〔註〕本シンポジウムの講演申込みは，講演部門IV(シンポジウム)と明記し，他の申込要領，原稿作成等については，一般講演と同称である。

〔付 記〕

1. 発表論文はProceeding of the 12th Japan Congress on Materials Researchに載せ，諸外国にも頒布の予定である。
2. 本論文集に掲載される論文は，今回発表されたもので，欧文で未発表のものに限る。
3. 投稿希望者は別に送られる規定原稿用紙に執筆し，講演会当日までに，日本材料学会気付，材料研究連合講演会論文集刊行会(京都市左京区吉田泉殿町1の101 Tel. (075) 761-5321)に提出すること。
4. 当日以降の提出原稿は受理しない。また，不備な原稿は返却することがある。

第3回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は、昭和39年秋、昭和41年秋と2回にわたり「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今年も映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを広く周知させ、あすの国土開発に寄与したいと考えております。なお今回も、建設省ならびに日本国有鉄道のご後援を得て開催いたします。ふるってご応募下さるよう、また、関係の向におすすめ下さるようお願い申し上げます。

これまでの優秀作品は土木学会「フィルム ライブラリー」として活用しており、年間の視聴者は1万名以上にのぼっております。今後も今回の優秀作品を含め土木学会はもちろん、一般の活用を推進する予定であります。

第3回「国土開発映画コンクール」要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画（特定企業の宣伝色の濃いものはご遠慮下さい）
2. 規 格：16 mm カラートーキー（上映時間約 20 分以上）昭和 41 年 11 月以降の作品に限る
3. 締 切：1968 年 9 月 30 日
4. 申 込 先：社団法人 土木学会総務課あて（申込書があります）
（東京都新宿区四谷1丁目 電話 東京 351-4133）
5. 審 査：土木学会内 映画審査委員会
6. 賞 状：1等1編、2等2編、3等3編 各賞ならびに賞牌（ただし該当作品のない場合は変更することがあります）
7. 発 表 会：1968 年 11 月 20 日（東京都内）

Coastal Engineering in Japan, 1968 掲載原稿の公募

土木学会海岸工学委員会では Coastal Engineering in Japan, 1968 に掲載する原稿を公募致します。提出される原稿は第 14 回海岸工学講演会に発表されたものを原則としますが それ以外のものでも結構です。下記要項をご参照の上、5 月末日までにご提出下さい。

なお、提出された原稿は海岸工学委員会で査読の上、必要に応じ修正をお願いすることがありますのでご了承下さい。

記

- ① 投稿される原稿はすべて英訳し、タイプ打ちとする。図面は必ずスミ入れし、説明文字は鉛筆書きでも結構です。
- ② 原稿 1 編当りの長さは、10 ページを原則（1 ページ当り 600 ワード）とし、掲載原稿はすべてペ 1 ページ当り 1000 金の掲載料をいただきます。なお、規定ページを超過した分については 1 ページ当り 2000 円の掲載料を負たんしていただくか本書を 2 冊購入していただきます。掲載料は本文刊行後請求いたします。
- ③ 校正は著者校正とし、校正の時に原稿を大幅に変更した場合は組替え料（実費）をいただきます。
- ④ 著者には本書一冊を差し上げます。別刷は希望者におのみ実費で差し上げます。
- ⑤ 1968 年版の予定は下記のとおりです。
○原稿締切：1968 年 5 月末日（英文タイプ打ちとする）
○著者校正：1968 年 11 月以降
○刊行予定：1968 年末

関東支部行事案内（東京都新宿区四谷1丁目 土木学会総務課内・電話 東京 (03) 351-4133）

関東支部総会（第5回通常総会）

◀ 4 月 27 日（土）15.00～ ▶

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂
2. 議 題：①昭和 42 年度事業報告および決算報告の承認
②昭和 43 年度事業計画および予算の報告
③商議員改選の承認

◎この会告をもって総会開催通知といたします。支部会員多数ご出席下さい。（なお総会后懇親会を開催いたします）

中部支部行事案内(名古屋市東区東新町10番地の1
中部電力水力部土木課内 電話 名古屋 (052) 951-8211 内線 3421)

昭和 43 年度中部支部総会

◀ 4 月 19 日 (金) 10.00 ~ ▶

下記のとおり開催いたしますのでご案内申し上げます。会員のみなさま多数ご出席ください。

記

1. 日 時: 1968 年 4 月 19 日 (金) 10.00 ~
2. 場 所: 岐阜市市民会館 2 階大集会室 (岐阜市美江寺町 2 番地・電話 岐阜 0582 (62) 8111)
3. 支部総会: 10.00 開会
 - (1) 開会のことば (2) 会務報告 (3) 来賓あいさつ (4) 新旧支部長あいさつ (5) 顧問推挙
4. 記念講演:
 - (1) 支部総会の岐阜開催に際して 岐阜県土木部長 本間 章
 - (2) 北陸本線糸魚川-直江津間線増工について——軟弱地帯における長大ずい道の施工—— 国鉄岐阜工務局長 松本 有
5. 見学会: 岐阜市民会館前～東海大橋～千本松原～養老
6. 懇親会:
 - (1) 場 所: 岐阜県養老町 (2) 会 場: 掬水 電 (養老) 7507 (3) 会 費: 2000 円 (宿泊費とも)
7. 申 込 み: 土木学会中部支部または最寄の幹事にお申込みください。懇親会にご出席の方は会費を添えてお申込み願います。
申込期日: 4 月 10 日 (水) まで

関西支部行事案内(大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電話 大阪 (06) 981-2510, 振替口座 大阪 82599)

(1) 関西支部第 41 回総会及び支部創立 40 周年記念式典 ◀ 5 月 23 日 (木) 14.00 ~ ▶

1. 日 時: 1968 年 5 月 23 日 (木) 14.30 ~ 19.00
2. 場 所: 大阪科学技術センター 8 階小ホール 電話 大阪 (06) 443-5321 番
大阪市西区靱 1 丁目 118 番地 地下鉄 3 号線信濃橋下車北へ 150m 靱公園北東角
3. 総 会: 14.30 ~ 15.00
 1. 諸報告 2. 新役員紹介 3. 現, 新支部長挨拶
4. 記念式典: 15.00 ~ 15.20
 1. 支部長挨拶 2. その他
5. 記念講演:
 - 15.20 ~ 16.00 1. 40 年を顧みて 神戸市立工業高等専門学校長 工博 近 藤 泰 夫
 2. 「関西の土木 100 年」について 大阪大学教授 工博 伊 藤 富 雄
6. 懇親会: 講演終了後懇親会を催します。(8 階ロビー, 開会 17 時よりの予定)
参加費 500 円
7. 記念出版: 40 周年記念出版として「関西の土木 100 年」(B5 版 200 ページの予定)を刊行, 総会当日発売の予定です。
特別頒価 700 円
8. 申込方法: 総会・記念式典・講演参加希望者は参加予定人員をハガキまたは電話にて, 懇親会参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記(様式随意)のうえ懇親会参加費 500 円を添えて, 関西の土木 100 年(関西支部創立 40 周年記念誌)ご希望の方は特別頒価 700 円(後送希望者に送料 100 円)を添えて 5 月 8 日 (水) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。懇親会参加証, 記念誌引換券をお送りいたします。

(2) 関西支部年次学術講演会 (昭和 43 年度)

◀ 5 月 12 日 (日) 9.00 ~ ▶

1. 日 時: 1968 年 5 月 12 日 (日) 9.00 ~ 17.30
2. 場 所: 大阪工業大学 電話 大阪 (06) 952-3131 番
大阪市旭区大宮北之町 1-158 市電大宮町下車

3. 講演題目および講師:

A. 特別講演 (12.55~13.50) 第二講堂

12.55~13.00 挨拶

土木学会関西支部長 河村 重俊

13.00~13.50 地震予知について

大阪工業大学学長 理学博士 佐々 憲三

B. 一般講演 (発表時間 1題 12分)

I. 構造力学・構造工学・橋梁工学

第1会場 (午前)

9.00~10.30

- ① 影響面自動製図機による変則床板橋の設計
阪神高速道路公団 山下 悦治・大阪設計コンサルタンツKK 波多野昭吾・○進藤 泰男・大阪工業大学 岡村 宏一
- ② 梁付き板の極限状態における有効幅について
大阪市立大学工学部 工博 倉田 宗章・○園田恵一郎
- ③ 平面応力波による弾性板内の円孔周辺応力状態について (スライド使用)
京都大学工学部 工博 丹羽 義次・広島大学工学部 佐藤 誠・日本国有鉄道 ○久保 晋
- ④ 単軸耐震壁の厳密解
大阪市立大学工学部 工博 倉田 宗章・○島田 功・大阪工業大学工学部 岡村 宏一
- ⑤ 多間高層ラーメンの水平力に対する解法について
大阪工業大学工学部 工博 重松 憲
- ⑥ 立体ラーメンの静的解析におけるネットワークポロジの応用
京都大学工学部 工博 小西 一郎・工博 白石 成人・玉村 三郎・○谷口 健男

討 論

10.30~12.00

- ⑦ 偏心変断面板ならびに板とよりの完全合成構造の曲げ理論
大阪工業大学工学部 岡村 宏一
- ⑧ 任意曲線形状を有する連続斜角格子桁の構造解析
大阪大学工学部 工博 小松 定夫・○杉野伊久男
- ⑨ 重荷重用格子床版の実験的研究 (第3報)
大阪大学工学部 工博 前田 幸雄・工博 波田 凱夫・○松井 繁之・神戸製鋼KK 桑原 重雄・梶本 政良
- ⑩ 曲線桁の最小重量設計について
京都大学工学部 山田 善一・岡田 鉄三
- ⑪ S字曲線形立体トラス橋の応力解析
立命館大学理工学部 工博 近藤 繁人・川崎重工業KK ○小林 真人
- ⑫ 薄肉曲線箱桁橋の二、三の特性について
京都大学工学部 工博 小西 一郎・神部 俊一・日立造船KK ○重見 五男

討 論

第1会場 (午後)

14.00~15.45

- ⑬ 地震記録波形の特性に関する一考察 (スライド使用)
京都大学工学部 工博 後藤 尚男・京都大学防災研究所 土岐 憲三・中央復建コンサルタンツKK ○横山 康夫
- ⑭ 地震動の非定常性について (スライド使用)
京都大学防災研究所 土岐 憲三
- ⑮ 土一基礎系の動的復元力特性について
京都大学工学部 工博 後藤 尚男・京都大学防災研究所 土岐 憲三・太田 昭宏・神戸市役所 ○安藤 嘉茂
- ⑯ 不規則外力による多自由度系の応答について (第2報)
京都大学工学部 工博 山田 善一・○竹宮 宏和
- ⑰ 構造物の不規則振動にける最大応答の確率分布について (スライド使用)
京都大学工学部 工博 後藤 尚男・○亀田 弘行
- ⑱ 有限要素法による構造物基礎の水平振動解析について
京都大学工学部 工博 後藤 尚男・土岐 憲三・○吉原 進
- ⑲ 地震動に対する長大つり橋の振動性状について (スライド使用)
関西大学工学部 高岡 宜善

討 論

15.45~17.30

- ⑳ 円弧形防潮水門の耐震性について
京都大学工学部 工博 後藤 尚男・富士製鉄KK ○岡村 秀夫
- ㉑ 鋼管斜組ぐい橋脚の耐震設計について (スライド使用)
神戸大学工学部 工博 知中 元弘・○北村 泰寿・兵庫県土木部 河本 禎二・八幡製鉄KK 西田 修治
- ㉒ 多柱式基礎の非線形振動について
大阪市立大学工学部 工博 倉田 宗章・大阪工業大学工学部 岡村 宏一・建設省近畿地方建設局 ○多田 浩彦
- ㉓ 地盤中の楕円形基礎の振動解析について (スライド使用) 京都大学工学部 工博 後藤 尚男・○秋吉 卓・京都大学防災研究所 土岐 憲三
- ㉔ つり橋塔、橋脚系の連成振動に関する実験的研究 (スライド使用)
京都大学工学部 工博 山田 善一・○辰巳 正明・喜多河信介
- ㉕ 長大構造物の空気力学的応答に関する一考察
京都大学工学部 工博 小西 一郎・工博 白石 成人・宇都宮英彦・日本国有鉄道 ○滝田 正一
- ㉖ 斜張橋の耐風安定性に関する実験的研究
大阪大学工学部 工博 小松 定夫・○小林 敏士

討 論

第2会場 (午後)

14.00~15.45

- ㉗ 斜めハンガーつり橋の力学性状に関する基礎的研究
京都大学工学部 工博 小西 一郎・工博 ○白石 成人・高田機工KK 深井 俊明・建設省 飯田 裕
- ㉘ 斜張橋の静力学的解析
大阪市立大学工学部 工博 橋 善雄・○中井 博・川根 征雄
- ㉙ 斜張橋の静的解析について (スライド使用)
大阪大学工学部 工博 前田 幸雄・○林 正・大森 邦雄
- ㉚ 斜張橋形式の連続合成桁について
大阪工業大学工学部 工博 赤尾 親助・○杉本 正治
- ㉛ プレートガーダーの塑性曲げ座屈に関する一研究
京都大学工業教員養成所 工博 米沢 博・○三上 市蔵
- ㉜ 後座屈域における腹板の耐荷力に関する 2, 3 の基礎的研究

京都大学工学部 工博 小西 一郎・工博 白石 成人・川崎製鉄KK ○浜田敬之介
大阪大学工学部 工博 前田 幸雄・○藤本 一男

- ㉔ アーチの塑性崩壊に関する実験的研究
討 議

15.45~17.15

- ㉕ 部分合成桁の疲労強度に関する実験的研究 (スライド使用)
大阪大学工学部 工博 前田 幸雄・工博 波田 凱夫・○梶川 靖治・大阪市土木局 佐伯 幸美・松川 昭夫
㉖ ラッピング集成材の曲げについて 神戸大学工学部 工博 西村 昭・飛岡 博明・KK神戸製鋼所 工博 山本 俊二
㉗ アーチ リブに作用する静的空気力に関する実験的研究 京都大学工学部 工博 小西 一郎・工博 白石 成人・○松本 勝・小川一志
㉘ 円弧型防潮水門の補剛構造に関する実験的研究について (スライド使用)
京都大学工学部 工博 小西一郎・工博 白石 成人・神戸製鋼KK 守 国夫・日本道路公団 ○保田 雅彦
㉙ 打込式高力ボルト接合の力学性状に関する実験的研究
京都大学工学部 工博 小西 一郎・竹村 勝之・山取 久輝・川崎重工業KK ○松井 五郎
㊀ 摩擦接合の耐力変動について
神戸大学工学部 西村 昭・阪神高速道路公団 田井戸米好・KK片山鉄工所 工博 瀬良 茂・○穂積 重臣・KK神戸製鋼所 三谷 哲夫

II. 水理学・水文学・河川工学・港湾工学・海岸工学・発電水力・衛生工学

第4会場 (午前)

9.00~10.30

- ① manifold からの噴流列の特性について 大阪大学工学部 村岡 浩爾・○清水 洋
② 自由噴流における拡散現象について—Batchelor の相似理論の適用と問題点 大阪大学工学部 村岡 浩爾
③ 風洞の乱流境界層における拡散 神戸大学工学部 Ph.D 筧 源亮
④ 固液2相流に関する考察 京都大学工学部 工博 岩佐 義朗・大成建設KK ○花村 哲也
⑤ 乱流境界層内における速度相関係数 (スライド使用)
京都大学工学部 医博 庄司 光・山本 剛夫・○石川 義紀・大阪府土木部 八木 康雄
⑥ 波面下における乱れた流れについて 神戸大学 田村 勇・Ph. D 筧 源亮

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 開水路流れにおける乱れの Lagrange 的相関関数の特性について 京都大学工学部 今本 博健・杉村 篤信・○本庄 正史
⑧ 成層密度流の流速分布に関する実験 京都大学工学部 井上 和也・○竹林 征三
⑨ 淡水と塩水を含む浸透層からの取水についての考察 京都大学工学部 工博 岩佐 義朗・○武内 等・大阪府土木部 小沢 宜雄
⑩ 円柱周辺の流れの局所機構について (スライド使用) 京都大学防災研究所 宇民 正
⑪ 局所的に流量が変化する開水路流れの特性について (第3報)
京都大学防災研究所 中川 博次・京都大学工学部 ○市橋 義臣・KK奥村組 国井 義彦
⑫ 直線水路における蛇行流について 京都大学防災研究所 田中 祐一郎

討 議

第4会場 (午後)

14.00~15.30

- ⑬ 蒲田川上流ヒル谷流域の地形地質の特性について 京都大学防災研究所 工博 矢野 勝正・○沢田 豊明・富山大学教養学部 理博 藤井昭二
⑭ 切取り斜面の崩壊の研究 (スライド使用) 神戸大学工学部 工博 田中 茂・○沖村 孝
⑮ 急傾斜水路における砂礫の移動
京都大学防災研究所 工博 矢野 勝正・○角野 稔・京都大学工業教員養成所 大同 淳之・京都大学工学部 白川 清
⑯ 混合砂れきの流送機構に関する一考察 京都大学防災研究所 ○道上 正規・京都大学工学部 吉川 太
⑰ 河床形態とその変動特性について 京都大学防災研究所 工博 芦田 和男・○奈良井修二・阪神高速道路公団 中島 裕之
⑱ 一揆河道における洪水流について 京都大学工学部 高橋 保

討 議

15.30~16.45

- ⑲ ダムによる洪水制御に関する一考察
京都大学工学部 高棟 琢馬・瀬能 邦雄・建設省中部地方建設局 ○入江 洋樹・KK間組 三谷 勝浩
⑳ 河道計画への経済的重要度の導入に関する基礎的研究
京都大学工学部 工博 石原藤次郎・○田坂隆一郎・建設省近畿地方建設局 奥田 朗・鹿島建設KK 柳 欣寛
㉑ 洪水調節貯水池群の操作に関する基礎的研究 (スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 石原 安雄・京都大学工学部 ○常松 芳昭
㉒ 自然河道の水平乱流について (スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 石原 安雄・○余越正一郎・東京都 藤本 幸満
㉓ 木津川水系における低水流量の時系列特性について 大阪大学工学部 工博 室田 明・○神田 徹

討 議

第5会場 (午前)

9.00~10.30

- ㉔ 横越流ぜきの越流特性について 京都大学防災研究所 ○中川 博次・中川 修
㉕ 鉛直水門上流の流速分布について
京都大学工学部 工博 岩佐 義朗・広島大学工学部 名合 宏之・運輸省 ○堀江 毅・横浜市 高橋 純忠
㉖ 砂れきの Saltation の機構について 京都大学工学部 工博 ○土屋 義人・建設省 渡戸 健介
㉗ 空気の圧縮を伴う非定常鉛直浸透 (スライド使用)
神戸大学工学部 工博 田中 茂・○八東正司夫・神戸工業高等学校 楠 弘毅

- ㉔ 振動時の間げき水圧性状に関する研究 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・尾尾 勝・○播田 一雄
- ㉕ 降雨期・融雪期の統計的単位関について 京都大学工学部 高棹 琢馬・池淵 周一・○田中 雄作

討 議

10.30~12.00

- ㉖ 雨水の浸入と土壌水分の消長について 京都大学防災研究所 ○福島 晟・京都大学工学部 垣尾 忠彦
- ㉗ 降雨時の地下水位の急激な変動について (スライド使用) 京都大学防災研究所 奥西 一夫
- ㉘ 流出系の状態遷移に関する研究 京都大学工学部 工博 石原藤次郎・高棹 琢馬・○池淵 周一
- ㉙ 土砂輸送に関連するモデル降雨の設定について 大阪大学工学部 工博 室田 明・○端野 道夫
- ㉚ 貯水池による季節別給水量の確率的决定について (スライド使用) 京都大学防災研究所 ○長尾 正志・建設省九州地方建設局 明 俊昭
- ㉛ 利水用貯水池群の最適利用について (スライド使用) 京都大学防災研究所 工博 ○石原 安雄・東京都水道局 石井 健幸

討 議

第5会場 (午後)

14.00~15.30

- ㉜ 有限振幅重複波理論による波圧の適用限界について 京都大学工学部 工博 土屋 義人・○山口 正隆・香川県土木部 野村 直茂
- ㉝ 波力による円柱の振動特性について 京都大学工学部 工博 土屋 義人・○名合 宏之・三橋 郁雄
- ㉞ 重複波の底面境界層における質量輸送 京都大学防災研究所 ○野田 英明・京都大学工学部 川嶋 康裕・木村 晃
- ㉟ 水深変化にともなう波の変形に関する研究 京都大学防災研究所 工博 岩垣 雄一・京都大学工学部 ○酒井 哲郎
- ㊱ 大海海岸における波浪の特性について 立命館大学理工学部 柿沼 忠男・京都大学防災研究所 ○石田 昭・京都大学工学部 門司 剛至
- ㊲ 大海海岸における波浪の推算について 立命館大学理工学部 ○柿沼 忠男・京都大学防災研究所 石田 昭・京都大学工学部 門司 剛至

討 議

15.30~16.45

- ㊳ 河口閉塞にともなう河道内水位の変化について (スライド使用) 大阪大学工学部 工博 ○榎木 亨・服部 征夫
- ㊴ 海岸堤防の越波実験における縮尺効果について 京都大学防災研究所 工博 岩垣 雄一・○井上 雅夫・金田 孝之
- ㊵ 傾斜堤の越波機構に関する実験的研究 (その2) 京都大学防災研究所 工博 岩垣 雄一・井上 雅夫・京都大学工学部 ○太田 隆義
- ㊶ 透過性構造物の減勢機構に関する実験的研究 (第2報) 大阪工業大学工学部 久保 弘一・○井田 保夫
- ㊷ 鋼板セル式岸壁に作用する間隙動水圧に関する研究 京都大学工学部 工博 長尾 義三・○黒田 勝彦・兵庫県土木部 陰山 凌

討 議

第6会場 (午前)

9.00~10.15

- ㊸ 上水需要構造の一考察 (スライド使用) 京都大学工学部 山田 淳
- ㊹ 大都市周辺における水源と汚濁に対する二、三の提案 都市再開発談話会 木原 敏
- ㊺ 浄水操作よりみた河川表流水の特徴について 大阪工業大学工学部 工博 宮北 敏夫・木原 敏・○上木 紀夫
- ㊻ 工場排水を中心とする処理系の計画に関する研究 京都大学工学部 工博 末石富太郎・山田 淳・大阪工業大学工学部 ○緒方 和夫
- ㊼ 河川の飽和溶存酸素量について 神戸大学工学部 ○竹岡建二郎・清水 進

討 議

10.30~12.00

- ㊽ 汚泥の干渉沈降特性と上向流中における浮遊平衡の実験的考察 大阪工業大学工学部 工博 川島 普・大阪市土木局 ○女 光彦
- ㊾ プレスフィルターによる混合汚泥の脱水実験 大阪工業大学工学部 工博 川島 普・○高田 巖
- ㊿ 汚泥の熱分解反応速度について 京都大学工学部 工博 平岡 正勝・○高内 政彦・中西 誠
- ㊿ 酸素消費を考慮した活性汚泥の Activity に関する一考察 京都大学工学部 工博 高松武一郎・内藤 正明・池田 有光・○色摩 勝司
- ㊿ 活性汚泥法における汚泥生物の浄化機能に及ぼす窒素の影響 (第2報) (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井 重久・北尾 高嶺・○後神 輝美
- ㊿ ばっ気そうにおける酸素収支の問題 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 合田 健・○宗官 功・木葉 佳成

討 議

第6会場 (午後)

14.00~15.45

- ㊿ 密度流中における水質変化の研究 京都大学工学部 工博 合田 健・○海老瀬浩一・渡辺 正孝
- ㊿ 下水道管きょ系統における汚水流出現象に関する研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 末石富太郎・○松井 三郎
- ㊿ 酸化池の設計に関する基礎的研究 (スライド使用) 京都大学工学部 工博 合田 健・○中西 弘・租開 保
- ㊿ 多孔体内の分子拡散と有効拡散係数の測定について (第2報) (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井 重久・工博 井上 頼輝・○福井 正美・金沢大学工学部 寺島 泰
- ㊿ 同伴飛沫の粒径測定について (スライド使用) 京都大学原子炉実験所 工博 筒井 天寿・○下浦 一邦・工博 金川 昭
- ㊿ 放射性スラッジの凍結再融解処理に関する実験的研究 (スライド使用) 京都大学原子炉実験所 工博 ○筒井 天寿・西牧 研社
- ㊿ 放射性廃棄物の海洋投棄処分に関する研究 (第4報) ——セメント固化体中放射性核種の溶器について—— (スライド使用) 京都大学工学部 工博 岩井 重久・工博 井上 頼輝・○青山 勲・金沢大学工学部 寺島 泰

討 議

15.45~17.40

- ⑤ ごみの燃焼におよぼす水分、密度の影響 (スライド使用)
京都大学工学部 工博 岩井 重久・○高月 紘・馬場 耕三・日立造船KK 春山 鴻
- ⑥ 空調装置の熱および物質移動現象に関する研究
京都大学工学部 工博 平岡 正勝・○南真 和
- ⑦ 自動車排気による大気汚染の研究—アイドル調整と点火改良装置の効果 (スライド使用)
京都大学工学部 医博 庄司 光・西田耕之助・石川 義紀・小松 正幹・○伝田 剛
- ⑧ 大気汚染に関する風洞実験 (4) —トレーサーガスの拡散に対する障害物の影響— (スライド使用)
京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本 剛夫・西田 薫・○上田 玄雄・奥村 知一
- ⑨ 大気汚染防止のための計算機制御の構想
京都大学工学部 工博 高松武一郎・工博 榎木 義一・内藤 正明・赤木 靖春・橋本 伊織・○池田有光・大阪府土木局 溝口次夫
- ⑩ 衝撃騒音による一時的聴力閾値移動 (TTS) について—特に曝露間隔と TTS との関連性について— (スライド使用)
京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本 剛夫・高木 興一・○米田 明彦・徳田 純夫
- ⑪ 大阪市における用途地域別騒音の特性 (スライド使用) 京都大学工学部 医博 庄司 光・医博 山本 剛夫・中村 隆一・○橋本 和平

討 議

III. 土質力学・土質工学・基礎工学・土木機械・施工

第3会場 (午前)

9.00~10.30

- ① マサ土のコンシステンシーと工学的性質について
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・大阪工業大学工学部 ○福田 護・関西大学工学部 西田 一彦
- ② 破砕性の粒子を含む砂質土の締固め後における安定性について
大阪工業大学工学部 岡 巖
- ③ マサ土の簡易せん断試験機について
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・関西大学工学部 ○西田 一彦・大阪工業大学工学部 福田 護
- ④ 砂のせん断抵抗について (スライド使用)
京都大学防災研究所 ○八木 則男・京都大学工学部 嶋田 三郎
- ⑤ 盛土幅に比し厚さのうすい軟弱地盤の流動について
運輸省 ○岩谷 文方・大阪大学工学部 松井 保・三藤 重剛
- ⑥ 軟弱粘土の流動特性について
大阪大学工学部 松井 保・建設省 ○竹本 雅俊

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 繰返し荷重を受ける飽和砂の流動化について
神戸大学工学部 工博 谷本 喜一・西 勝・○山道 幸幸・植村 隆晴
- ⑧ 破壊時の間げき水圧係数 A_f に関する一考察
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・○太田 秀樹
- ⑨ セル内壁に働らく動的間隙水圧について (スライド使用) 神戸大学工学部 工博 畑中 元弘・新日本技術コンサルタント ○白井 義明
- ⑩ 飽和粘土内の応力波伝播について (スライド使用)
京都大学工学部 工博 赤井 浩一・木内 勉・運輸省 徳田 峯夫
- ⑪ 粘土のくり返しせん断試験
京都大学防災研究所 工博 村山 朗郎・○栗原 則夫
- ⑫ 粘土のペーせん断強度について
京都大学防災研究所 工博 柴田 徹・○田河 勝一

討 議

第3会場 (午後)

14.00~15.30

- ⑬ 超音波伝播速度による土の強度の推定について
京都大学防災研究所 八木 則男・○石井 義明
- ⑭ 振動荷重下にある粘土の強度特性について (スライド使用)
京都大学防災研究所 八木 則男・京都大学工学部 ○行友 浩
- ⑮ 二、三の因子が斜面の安全率に及ぼす影響
京都大学工学部 松尾 稔・○広瀬 富哉
- ⑯ 振動による排水に関する一実験
神戸大学工学部 工博 谷本 喜一・○岡宗 秀樹
- ⑰ 土の透水性規制に関する研究
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○大井 洋輔
- ⑱ 射出水による土の透水性改良工法
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○木暮 敬二

討 議

15.30~17.00

- ⑲ 地中ダムによる地下水貯留の実験的考察
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○河野 伊一郎・高橋 道生
- ⑳ 杭の水平抵抗に関する 2, 3 の考察
立命館大学理工学部 勝見 雅・○西本 安範
- ㉑ 砂ぐいを打設した粘性土地盤の安定計算に関する二、三の考察
京都大学工学部 松尾 稔・○西川 誠
- ㉒ 帆布による軟弱地盤表層処理に関する研究
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○富田 武清
- ㉓ リグニン系材料による土質安定の実験—特に分散固結効果について—
京都大学工学部 工博 松尾新一郎・○宋 永煥
- ㉔ 真砂土の安定処理に関する一考察
大阪市立大学工学部 工博 三瀬 貞・○山田 俊・広島工業大学工学部 鈴木 健夫

討 議

第2会場 (午前)

9.30~10.30

- ㉕ 砂粒子による金属面の摩擦特性について
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・室 達朗・○安岡 伸之
- ㉖ ブラインドシールドの推進力の算定と実験
大阪大学工学部 工博 伊藤 富雄・松井 保・大阪府土木局 ○高本 敏
- ㉗ 回転掘削機構について (第3報)
京都大学工学部 工博 嶋 昭治郎・西松建設KK ○伊藤 典生
新日本技術コンサルタントKK 三浦 克弋・大成建設KK 田岡 征五
- ㉘ 岩盤せん断試験についての模型実験
大阪大学工学部 藤井 清司・○青山 護

討 議

10.30~11.45

- ㉙ 異方性岩質材料に対する三軸圧縮試験 (スライド使用)
京都大学工学部 工博 赤井 浩一・○山本 和夫・北上田 毅
- ㉚ 異方性弾性地山内の応力測定に関する二、三の考察 (スライド使用)
京都大学工学部 工博 丹羽 義次・小林 昭一・○平島 健一
- ㉛ トンネル外周地盤の応力と変形について (スライド使用)

京都大学防災研究所 工博 村山 朔郎・京都大学工学部 ○松岡・元 小川 雅裕

- ㉒ 火薬類の爆発による音響および地盤の振動 立命館大学工学部 工博 島山 直隆・○小出 忠男・大阪産業大学理工学部 芥生 正巳
- ㉓ 公害振動計の特性について(その2)(スライド使用) 神戸大学工学部 工博 畑中 元弘

討 議

IV. 交通工学・土木計画学・測量・コンクリートおよび鉄筋コンクリート工学・土木材料

第7会場(午前)

9.00~10.30

- ① 混雑交差点に流入する自動車の起終点調査について 大阪市総合計画局 寺田 久弥・○伊藤 和雄
- ② 区間速度調査の簡易化について 名古屋工業大学工学部 工博 渡辺 新三・大阪工業大学工学部 ○金丸 次男
- ③ 模倣標識実験の報告 京都大学工学部 ○明神 証・藤原 昭男
- ④ 駐車需要の推定に関する二、三の考察 京都大学工学部 工博 米谷 栄二・京阪神急行電鉄KK ○林 俊二郎
- ⑤ 交通需要推定に関する二、三の考察 京都大学工学部 工博 佐佐木 綱・大阪土木部 ○林 保正
- ⑥ 交通パターンと地域構造との関連について 京都大学工学部 工博 天野 光三・○藤田 昌久

討 議

10.30~12.00

- ⑦ 高速道路網における流入車制御のためのランプ間交通量の推定法 京都大学工学部 工博 米谷 栄二・○飯田 恭敬
- ⑧ 道路網の最大フローに関する一考察 大阪市立大学工学部 ○西村 昂・中村 正治
- ⑨ ネットワーク手法と順序付け問題に関する一考察 京都大学工学部 工博 吉川 和広・○春名 攻
- ⑩ 面制御に関する一考察 京都大学工学部 工博 米谷 栄二・○奥谷 巖
- ⑪ 圧縮性流体としてみた交通流 京都大学工学部 工博 佐佐木 綱・○井上 矩之
- ⑫ 通路における歩行者の流動特性について 京都大学工学部 工博 天野 光三・青山 吉隆・○安井 常二

討 議

第7会場(午後)

14.00~15.30

- ⑬ 都市における転入出モデル 京都大学工学部 奥谷 巖・○山村 信吾
- ⑭ 大都市圏の土地利用と周辺都市の性格について 京都大学工学部 工博 天野 光二・○溝入 隆
- ⑮ ターミナル施設の適正配置と規模決定に関する研究 京都大学工学部 工博 吉川 和広・○木俣 昇・中野 真介
- ⑯ 観光誘引力の計量化に関する一考察 京都大学工学部 工博 天野 光三・○高橋 靖典・KK熊谷組 下崎 方夫
- ⑰ 住宅潜在需要に関する一考察 京都大学工学部 工博 天野 光三・○村橋 正武
- ⑱ 都市問題の現状の打開策(市内河川の再開発構想の3次案)について 都市再開発協議会 赤井 一昭

討 議

15.30~17.00

- ⑲ 大阪駅乗換相関表の推定について 大阪市総合計画局 池田 順一
- ⑳ 生鮮食料品流通施設計画に関する研究 京都大学工学部 工博 天野 光三・○柏谷 増男・京阪電鉄KK 新島 健士
- ㉑ 物資流動面からみた産業配置に関する一考察(続) 京都大学工学部 工博 長尾 義三・○森杉 寿芳・小池 正臣
- ㉒ シミュレーションによる航空機の動態解析に関する一考察 京都大学工学部 工博 吉川 和広・○大島 康宏・大門 良巳
- ㉓ 港湾施設整備のための貨物量プロセスに関する研究 兵庫県土木部 ○梅田 千秋・中央復建コンサルタンツKK 朴 性辰・寺尾 猛
- ㉔ PDC 分析による港湾施設計画に関する一考察 京都大学工学部 工博 長尾 義三・○金井 万造・黒田 秀彦

討 議

第8会場(午前)

9.30~10.30

- ㉕ 砕石コンクリートのワーカビリティにおよぼす混和剤の影響 大阪工業大学工学部 ○児玉 武三・園井 三朗・岩脇 秀夫
- ㉖ 凍結を受けたコンクリートの強度について 大阪工業大学工学部 児玉 武三・○鶴岡 光夫・桃井 義郎
- ㉗ アルミナセメントに無収縮材料を混和したグラウトの急速施工(スライド使用) 国鉄大阪工務局 杉野 勇・○久門田 環
- ㉘ 低強度ベントナイトモルタルの基礎的研究 近畿大学理工学部 ○玉井 元治・猪飼 國治
- ㉙ モルタル曲げ供試体における微小クラックの発達について(スライド使用) 京都大学工学部 工博 丹羽 義次・小林 昭一・小柳 洽・○中川 浩二
- ㉚ 人工軽量骨材コンクリートの付着特性について 神戸大学工学部 藤井 学・○綾 安広

討 議

10.30~12.00

- ㉛ 人工軽量骨材コンクリートの支圧強度に関する研究(スライド使用) 阪神高速道路公団 千葉 静男・京都大学工学部 西林 新蔵・神戸大学工学部 ○藤井 学
- ㉜ スラブの曲げ耐力に関する二、三の実験(スライド使用) 京都大学工学部 小柳 洽・○平沢 征夫・米田 俊一
- ㉝ 鉄筋コンクリートの電食に関する一実験(スライド使用) 京都大学工学部 工博 岡田 清・大阪工業大学工学部 ○仁枝 保
- ㉞ RC部材のせん断破壊機構に関する二、三の考察 神戸大学工学部 藤井 学・梶村 雄佑・日本道路公団 ○和佐勇次郎
- ㉟ 鉄筋コンクリート無補強梁のせん断耐力に関する基礎的研究(スライド使用) 立命館大学工学部 工博 明石外世樹・○可見 幸彦・大阪産業大学理工学部 山路 文夫
- ㊱ PCパイルの打撃応力について(第2報) 京都大学工学部 工博 岡田 清・吉竹 孝之・大阪府立工業高等専門学校 ○久良喜代彦

討 議

第8会場(午後)

14.00~15.30

- ⑩ 軽量PC合成はりに関する二、三の実験(スライド使用) 京都大学工学部 工博 岡田 清・小林 和夫・吉岡 保彦・臼井 幸彦
 ⑪ 軽量PC桁の曲げおよびせん断耐力に関する二、三の考察(スライド使用) 京都大学工学部 西林 新蔵・阪神高速道路公団 千葉 静男・オリエンタルコンクリートKK ○小林 峰夫
 ⑫ 道路線形の透視図法による判定に関する一考察—ガットマンの—対比較法による検討— 神戸大学工学部 枝村 俊郎・○山内 暁
 ⑬ 地上写真測量による河流の河床変動調査について(スライド使用) 京都大学工学部 工博 森 忠次・○星 仰・京都大学防災研究所 奥村 武信
 ⑭ 前方交会法による水中測定の位置測定結果について 京都大学工学部 工博 ○森 忠次・高尾 善昭
 ⑮ ショベル・タンクの組合わせに関する一考察 京都大学工学部 工博 畠 昭治郎・太田 秀樹・○荒井 克彦

討 議

15.30~17.00

- ⑯ 道床バラストの粒度と振動数特性について(スライド使用) 京都大学工学部 工博 後藤 尚男・○小西 純一・坂東 弘
 ⑰ カラー舗装について(スライド使用) 大阪市立大学工学部 工博 ○三瀬 貞・広島工業大学工学部 鈴木 健夫
 ⑱ 軟弱粘土上の舗装構造に関する一考察 大阪市立大学工学部 工博 三瀬 貞・○森光 良太・広島工業大学工学部 鈴木 健夫
 ⑲ アスファルト乳剤の品質改良に関する一実験(スライド使用) 大阪市立大学工学部 工博 三瀬 貞・○大岸 敏章・広島工業大学工学部 鈴木 健夫
 ⑳ ソイルセメントのマーシャル試験結果について 近畿大学理工学部 ○池田 壮雄・佐野 正典
 ㉑ ガードフェンス実物実験結果の解析 神戸大学工学部 枝村 俊郎・○山本 俊夫

4. 講演概要頒布:論文抄録集(B5版・オフセット印刷)をつぎのとおり頒布いたします(ただし600部限り申込先着順)。

正会員 200円, 学生会員 100円, 非会員 300円, 講演者(○印) 無料 送料 100円

5. 聴 講: 無料, 来聴歓迎

6. 申込方法: 講演概要希望者は4月26日(金)までに勤務先, 連絡先, 会員の種別, 氏名および講演会に出欠を明記(様式随意)のうえ, 上記講演概要代金および送料(前送希望者)を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

(付) テキスト頒布について

シールド工法研究会資料(地下鉄シールドの問題点 シールド工事施工上の問題点の2点1組)	頒 価	100 円	送 料	55 円
写真測量とその応用	〃	800 円	〃	80 円
土木工学における動的現象の計測とデータ処理	〃	700 円	〃	80 円
水理学・水文学における最近の進歩	〃	1 000 円	〃	100 円
道路・交通工学における最近の諸問題	〃	500 円	〃	60 円
プレストレスト コンクリート最近の進歩	〃	800 円	〃	80 円
土木構造物の振動と安全性	〃	1 000 円	〃	80 円
土質改良工法	〃	600 円	〃	60 円(残部僅少)
水理公式集の解説と例題	〃	375 円	〃	80 円
建設工事と高分子材料	〃	200 円	〃	60 円
構造工学	〃	700 円	〃	80 円
都市環境衛生	〃	450 円	〃	80 円(残部僅少)
溶接構造	〃	200 円	〃	80 円
セメントコンクリート	〃	225 円	〃	80 円
海岸工学の最近の進歩	〃	700 円	〃	80 円
最近の交通問題とその対策	〃	400 円	〃	80 円

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部(振替口座利用)へお申し込み下さい。

用途別鋼材のえらび方講習会

- 主 催: 日本規格協会
- 後 援: 土木学会ほか 10 団体
- 協 賛: 日本産業機械工業会, ほか 7 団体
- 日時および会場:
 東京—1968 年 4 月 23 日(火), 24 日(水) 日本規格協会 6 階大講堂(東京都港区赤坂 4 丁目 1 番 24 号)
 大阪—1968 年 4 月 25 日(木), 26 日(金) 日本規格協会関西支部 JIS ホール(大阪市東区安土町 2-1 安土町野村ビル)
- 聴 講 料: 4 000 円(テキスト共)
- 定 員: 120 名(東京) 100 名(大阪)
- 申込方法: 希望者は任意の用紙に氏名, 社名, 所属部課名を記入の上下記宛申込み下さい。

8. 申込先：東京一東京都港区赤坂4丁目1番24号 日本規格協会標準課 電話 (03) 583-8001
 大阪一大阪市東区安土町2-1安土町野村ビル 日本規格協会関西支部 電話 (06) 261-8086
 なお、詳細は直接上記宛にお問合せ下さい。

コンクリート講習会 (レデーミクスト コンクリートの JIS 改正に当って)

1. 主催：日本コンクリート会議
2. 後援：土木学会，ほか 13 団体
3. 協賛：8 団林，生コンクリート事業 団体
4. 開催地，会期，講師，定員

開催地	会期	講師					定員
		①	②	③	④	⑤	
東京	43.4.16 (火)	国分	亀田	山崎	国枝	島田・村田	700
大阪	4.23 (火)	奥島	亀田	武田	国枝	樋口・岡田	300
名古屋	4.24 (水)	西	幸田	武田	国枝	柳田	300
金沢	4.26 (金)	岡田	幸田	村田	国枝	島田	150
福岡	5.7 (土)	徳光	亀田	山崎	田村	佐治	300
広島	5.9 (木)	山田	村田	山崎	田村	佐治	200
高松	5.11 (土)	岡田	佐治	秋田	田村	野口	100
仙台	5.21 (火)	後藤	幸田	山崎	国枝	洪	200
札幌	5.23 (木)	横道	亀田	山崎	国枝	洪	250

5. 科目と時間割：

- 9.30~10.50 ① コンクリート技術の傾向
- 10.50~12.00 ② レデーミクストコンクリートの購入および検査
- 13.00~13.45 ③ レデーミクストコンクリートの製造技術
- 13.45~14.30 ④ レデーミクストコンクリートの JIS 工場の指定
- 14.30~16.00 ⑤ コンクリートの施工における問題点
- 16.00~16.30 ⑥ 質疑応答

6. 講習料：1300円 (テキスト代共)

7. 詳細は日本コンクリート会議 (東京都港区芝公園6号地3 芝パークホテル310号 電話 433-4131) へお問合せ下さい

第6回接着研究発表会講演募集

1. 主催：日本接着協会他数学協会
2. 日時：1968年6月 2日間
3. 会場：大阪市内，未定
4. 研究発表の内容：接着に関連があるすべての研究
 (A) 物性 (B) 界面現象 (C) 合成 (D) 接着加工 (E) 分析 (F) 試験法 (G) その他
5. 申込方法：研究発表申込書を送付して下さい。(申込書は自作で可) 申込書には下記の事項を明記
 (A) 演題
 (B) 研究者 (氏名，勤務先，住所，電話，発表者に○印)
 (C) スライド，またはビラの有無
 (D) 講演内容 (100字程度)
 (E) 分類 (物性，合成，加工など)
6. 申込先：大阪市西区江之子島 大阪府立工業励奨館内 日本接着協会年会係
7. 東京連絡先：東京都目黒区大岡山 東京工業大学高分子学科 (畑研究室内) 日本接着協会関東支部
 電話 (03) (726) 1111 内線 334